

# 出雲大社

IZUMO OOYASHIRO

縁結びの神様  
 大国主大神を祀る。

10 素戔嗚社  
すさのおのむね

スサノオ神が祀られています。八岐大蛇を退治された神様です。その御子スセリ姫は大国主大神の正妻とされました。この社はスビリチュアル・スポットと言われ、地元の子供が到着される稲佐浜の砂をこの社に奉納し、代わりに社にある砂を頂いて帰ります。この砂が私達を災難から守って下さると信じられています。

9 御本殿  
みほんだん

日本の国づくりをされた大国主大神を祀っています。縁結びの神様として全国に知れ渡っています。旧暦の10月は全国的に神無月といいますが、出雲では逆に神在月といえます。これは、全国の神々が出雲に集まり、会議を開かれているからと伝えられています。出雲地方では神様の会議の邪魔にならないよう静かにしているのが習わしとなっています。

6 東と西の十九社  
あづまにしにじゅうくさ

旧暦10月の神在月(全国的には神無月)に全国から八百万の神々が出雲大社に集まられたときに宿泊されるのがこの十九社で、東十九社と西十九社があります。神々が滞在されている間は扉が開かれます。



4 ムスビの御神像  
むすびのみのかみ

大国主大神が国造りに悩まれたとき、海の方から光輝く神が現れた様子です。その神は、大国主大神自身の魂であると言われ、大和の三輪山に祀れと告げられました。その後、大国主大神がお告げに従って大和の三輪山にご自身の和魂(にきみたま)を鎮められたのが奈良県の大神神社(おおみわじんじや)の始まりです。

5 ご慈愛の御神像  
ごじあいのみのかみ

因幡の素戔の神話の一場面を表しています。大国主大神が背負われた袋の中には私達の苦難や悩みが入っていて、私達の身代わりに背負って下さっています。大神様は幾度も試練や難事に会われましたが、その度に復活されました。このため、「復活の神」「甦りの神」としても崇敬されています。また、素戔の怪我を治されたことから「医療の神」とも崇められています。

3 祓社  
はらひのやしろ

出雲大社に参拝する前に、この社にお参りします。こころ身を清めて出雲大社にお参りしましょう。

7 古代神殿の柱跡  
こたいにんどのしらべ

拝殿の裏に古代神殿の柱の発掘跡のしるしが付いてあります。3本の巨木を一つに束ねて直径3メートルの柱を作り、それらを9組の柱として高さ48メートルの御本殿が建てられました。古代の日本で最大の高さを誇る木造建築でした。

2 下り参道  
くだりさんどう

一般的に日本の神社は上に登っていく形式ですが、勢溜から被褥まで全国でもめずらしい下り参道となっています。

1 勢溜  
せいだまり

出雲大社境内の正門です。大社町の平野部分で一番の高台にあり、南を見ると山脈を背景に一の鳥居が見えます。出雲大社への参拝は「一の鳥居」から始まり四つ目の鳥居を通して参拝しましょう。



勢溜から下り参道を通して松の参道へ。  
 最後に銅の鳥居をくぐると  
 拝殿、そして国宝の本殿に。

